

「肝胆膵疾患における線維化と発癌に対する新規糖鎖マーカーに関する研究」に  
参加された方およびそのご家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	体液中胆汁酸プロファイルと肝胆膵疾患との関連
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	肝胆膵内科
研究責任者	(職名)教授(特任)(氏名)伊藤清顕
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	肝臓でコレステロールから合成される胆汁酸は石けんのような界面活性作用を持ち、脂肪の消化吸収に重要な役割を果たしています。この胆汁酸の界面活性作用は一部のウイルスや細菌感染の病態に影響を与える可能性があります。また、胆汁酸は腸内細菌により変換されるため、多くの消化器系疾患と関連する可能性もあります。本研究では、これまでに収集した体液(血清、尿および胆汁)を使用し、その胆汁酸プロファイル(種類や組成など)と各種肝胆膵疾患との関連を明らかにしたいと考えています。本研究により、新たな診断マーカーや新薬の開発に繋がり、患者さんの診断や治療の向上に貢献できる可能性があります。
対象となる患者さん	「肝胆膵疾患における線維化と発癌に対する新規糖鎖マーカーに関する研究」(承認番号:2017-H084)に参加した患者さん
研究の方法	当院で収集し匿名化された試料を当院研究室もしくは外部検査機関で測定し、匿名化された診療情報との関連を研究します。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	血清、尿、胆汁、診療情報(血液検査結果、画像データ等)
外部への試料・情報の提供	胆汁酸プロファイル解析のため匿名化された血清、尿、胆汁の順伸クリニック胆汁酸研究所への提供(診療情報は提供しない)
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学

	<p>医学部内科学講座 肝胆膵内科</p>
--	-----------------------

担当者：(職名)教授(特任) (氏名)伊藤清顕

電話 0561-62-3311 (内線 23480)